



孤独を抱えた水道局員と、たった二人取り残された幼い姉妹。
給水制限の夏、一件のへ停水執行Vが波乱に満ちた人間模様を紡ぎだし
現代社会に真の絆を問う珠玉のヒューマンドラマ



普遍的な生の哀しみを描いた芥川候補作が、
三十年の時を経て待望の映画化

渇水



令和8年11月28日(土)

13:45~15:40 受付開始 13:15~

主催：北海道における子どもの社会的養護を考える会
(札幌乳児院児童家庭支援センター内)

TEL: 011-879-6264 (平日9:30-17:00)

後援：札幌市、北海道

会場

北海道庁旧本庁舎

赤れんがホールA

札幌市中央区北三条西6-1 2階

申込

右隣QRコード読取り
またはお電話にて！
(予約優先) →→→

入場無料

定員70名



映画「渇水」について



渇水



映画『渇水』が描くのは、現代日本に実在する「見えない貧困」と「孤立する子どもたち」のリアルです。猛暑の夏、親に置き去りにされ、水も電気も止められた家で健気に生きようとする幼い姉妹。彼女たちの姿は、私たちに「もし、自分の隣の家で同じことが起きていたら?」「ルールを守ることと、目の前の命を救うこと、どちらが正しいのか?」を問いかけます。「社会的養育」への関心が高まっていますが、いま、本当に必要なのは、私たち一人ひとりの「気づく目」です。まずは一緒に映画を観て、子どもたちの命と未来を社会でどう守っていくべきか、あなたの言葉で語り合しましょう。

「北海道における子どもの社会的養護を考える会」について

私達、『北海道における子どもの社会的養護を考える会』では、事情があって一時的または長期にわたり家庭で暮らせなくなった子どもに、できるだけ途切れない連続した家庭的な環境を保障したい。また、何らかの支えがあれば実親の元で暮らせる・実親の元に戻れる子どもの育ちを応援したいという趣旨の元で活動を行っています。

活動内容として、主に年1回の総会・研修会、会員相互の交流・親睦及び情報交換、一般市民に向けて、子どもの社会的養護への関心を高めるよう、啓発活動に取り組んでいます。

社会的養護について、まず多くの方に知っていただくこと、そしてこの映画上映会をきっかけに、次代を担う子どもたちが安心して健やかに育つ環境を作るための一助になることを願って、今年度の映画上映会を開催させていただきます。

申込

入場無料

定員70名

※ 予約優先

QRコードまたはURLよりアクセスし、フォーム、またはお電話にてお申込みください。

QRコード読取りまたはお電話にて！
<https://short-url.cc/1BDct>



お問合せ

北海道における子どもの社会的養護を考える会
(札幌乳児院児童家庭支援センター内)
TEL: 011-879-6264 (平日9:30-17:00)